

令和7年度(令和6年度実施事業)第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価 戦略会議の意見と市の考え方

基本目標1。雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり
推進施策(1)産業基盤強化の促進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIの達成状況は順調で、国の計画通りに事業は展開されており、評価できる。国際物流ターミナルの整備は、産業基盤強化の促進に向けて重要な取組みであり、引き続き、中長期的な視点を持って、周辺自治体、企業、県、国との連携深化を進めていただき、より高いレベルに近づく取組を継続されたい。		河川港湾課
2	国際物流ターミナルの今後の利用についてどのくらい増加(減少)するのか予測をされているか。		河川港湾課
3	国の政策動向、予算措置の影響が大きい分野と認識している。カーボンニュートラルポートについても、立地企業の技術開発、投資判断の影響が大きい、市として可能な支援を行う必要がある。		商工振興課

推進施策(2)企業立地の促進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPI目標のうち、「本社機能移転等の認定件数」は目標に達成していないものの、他の2項目も含めて概ね達成されており、評価できる。記載のとおり、企業ヒアリング等を通じた具体的な動向やニーズを確認していただき、引き続き企業立地促進の取組を進めていただきたい。		商工振興課
2	補助制度の指定数は上回っているが、認定件数は目標に達していない。それにもかかわらず、新規雇用者数は目標を上回っている。今後はKPI目標の整合性等まで踏み込んだ目標設定をお願いしたい。市外流出する若者を減らし、地域に呼び込むレベルを目指すべき。		商工振興課
3	本社機能移転件数が予測を下回っているが、どのような要因と考えているか。		商工振興課
4	KPIはおおむね達成されていると評価できる。今後は、企業立地について量的側面と同時に質的側面も着目する必要があると考えられる。例えば新規雇用者が勤務を継続しているかなど。		商工振興課

推進施策(3)新事業・新産業・新エネルギーの創出

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIの達成状況は順調である。「新事業・新産業の創出」及び「創業支援の推進」は、地域経済の活性化に寄与するものであることから、関係機関(支援機関、金融機関等)との連携も踏まえて、引き続き取組みを推進していただきたい。		商工振興課
2	KPIは重点立地促進事業の指定件数、創業支援を受けて創業した件数ともに、目標を大幅に上回っている。それが安定して働くことのできるまちづくりにどれだけ寄与しているのか、それでも人を呼び込めないのはなぜか、より整合性のある取組を検討されたい。		商工振興課
3	事業所の業界・分野の動向を把握するとあるが、具体的にどのような分野か。また、分野の傾向把握から今後の展開はどうか。		商工振興課
4	新エネルギーの利活用について、必要量のどのくらい新エネルギーに転換が進んでいるか。		商工振興課
5	KPIはおおむね達成されていると評価できる。今後は、推進施策(2)と同様に量的側面と同時に質的側面も着目する必要があると考えられる。例えば創業後に事業継続状況など。		商工振興課

推進施策(4)稼げる農林水産業の構築

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	「新規漁業就業者数」については達成されておらず、漁協のほか、市外の関係機関との連携を深めることも検討してみてもどうか。市外の機関と連携しているのであれば、そのように進めていただきたい。		水産振興課
2	他県他市で新規漁業就業者が増加傾向にある自治体はあるか。あるならば、その自治体の施策と本市との違いなどはあるか。		水産振興課
3	従事者の高齢化や後継者不足について、後継者を発掘に向けて、生成AI等先端技術を使った人手不足解消等の支援策は考えられているか。		農業振興課 水産振興課
4	6次産業化チャレンジ支援事業対象件数は目標を達成しており、今後は、「しゅうなんブランド」のPRに力を入れていただきたい。その際、「下関＝ふぐ」、「萩＝夏みかん」というような周南市をイメージできる商品があれば、訴求力が増すと思う。		農業振興課
5	6次産業支援事業対象件数は目標を上回るが、目標達成により得られる効果の検証が必要。これは今後の目標設定におけるレベル感の指標となる。新規漁業就業者数については、目標到達時のゴールイメージの作成と共有が必要。		農業振興課 水産振興課
6	KPI未達成の新規漁業就業者数については、課題解決は容易ではないと考えられる。漁業全体の今後の在り方の議論の中で、どの程度就業者が不足しているのか、という試算も必要と考える。		水産振興課

推進施策(5)雇用の充実

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIは達成できていないものの、様々な施策を実施しており、一定の評価はできる。雇用の充実に向けて、若者の地元定着が重要な取組みの1つであると考えられ、令和7年度から支援内容を拡充した「奨学金返還支援制度」の周知に努めていただきたい。		商工振興課
2	本市における奨学金返還支援制度を実際に受けている学生の属性や傾向は。		商工振興課
3	大学生に向けた支援として奨学金返還支援事業をされているが、高校生やIJUターナー者に向けた支援は考えられているか。		商工振興課
4	有効求人倍率は1倍を上回って推移している。しかし、雇用形態別にみるとパートについては厳しい状況にあり、令和7年5月のパート有効求人倍率は0.91倍以上となっている。ハローワークもパート求人の量的確保に尽力しているが、市と連携した取組ができれば良いと考えている。		商工振興課
5	KPI目標が雇用の充実にどれだけ寄与できるのか、適切な目標値はいくらかを検討すべき。難しい設定ではあるが、「この施策で最低何人は確保する」といった必達目標の設定も必要。常に目標達成を目指す組織であるべき。これらの取り組みだけでは人口減少を完全に止められないが、現状に抗うこと自体が最重要かつ不可避である。		商工振興課
6	各委員からの指摘にあるような多角的な視点で、今後の施策展開を工夫されたい。		商工振興課

基本目標2。子育てに寄り添い、次代を担う人材を育むまちづくり
 推進施策(1)結婚、妊娠・出産・子育てに関する支援の促進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPI目標は達成できており、評価できる。結婚・妊娠・出産・子育てに関する支援は促進されていると見受けられるが、まずは結婚する方(若者等)を増やす必要があると考えられ、民間企業等と連携した「婚活イベント」の企画やイベントへの支援も検討してはどうか。		あんしん子育て推進課
2	訪問事業の実施件数は右肩上がりだが、利用者の満足度はいかがか。		あんしん子育て推進課
3	里帰り出産ができない状況である。Uターン者を増やしていくうえで考えなければならない問題ではないか。		あんしん子育て推進課
4	目標達成のためには、訪問件数や実施件数の実態把握に加え、何が不足しているのか、何が求められているのか、十分な支援には、それらをどれだけやらなければならないのかを明確にし、その上で取組施策を検討されたい。		あんしん子育て推進課
5	現在の人口の年齢構成上、出産数の増加は容易ではない状況であり、人口減少の緩和というマクロな視点も重要ではあるが、そのためにも個々の親子に寄り添うミクロな視点での施策も重要と考える。		あんしん子育て推進課

推進施策(2)豊かな心を育む幼児教育・保育サービスの提供

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIの達成状況は順調であり、今後も引き続き、当該施策を推進していただきたい。		こども保育課
2	近年の人手不足、多様な働き方、高齢者の再雇用などの必要性の有無を検討するため、サービスを提供する側(保育士・児童クラブ職員)の人員構成及び過不足などはいかがか。		こども保育課
3	働く親にとって、子供の病気やケガの時の受け入れ先が問題となる。親が安心して働けるよう病児保育の充実を図る必要があるのではないか。		こども保育課
4	2つのKPIに目的とのずれが生じている。直接関連する取り組みによるKPIを検討されたい。		こども保育課
5	今後は、公共サービスの担い手確保がこれまで以上に重要になると考えられる。幼児教育・保育サービスにおいても、担い手の量・質の確保を政策目標とすべきと考える。		こども保育課

推進施策(3)生き抜く力を育む教育の充実

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIの達成状況は順調であるほか、特徴的な各施策も素晴らしい。今後も引き続き、当該施策を推進していただきたい。		学校教育課 教育政策課
2	推進施策とKPI設定に関連性をあまり感じない。推進施策に対する新たなKPI設定をする考えはありますか？ 記載のある学校給食管理システムなどの教職員の負担軽減に繋がるKPI設定や、周南公立大学と協働した質の高い学びの数値化など。 推進施策(2)と同様に、直接関連する取り組みによるKPIを検討されたい。		学校教育課 教育政策課
3	ハードについては充実しているが、ソフトについて指導する先生の格差が大きいのではないか。		学校教育課
4	今回のKPIはハード面に関するものが中心で、達成されている。本総合戦略はコロナ感染拡大の状況下で作成され、対象期間の過半もコロナ禍にあったことは留意すべきと考える。今後はポストコロナ、より進行する少子化の中での学校教育の在り方を盛り込んでいく必要があると考える。		学校教育課 教育政策課

基本目標3。若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり
推進施策(1)関係人口の創出・拡大

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIは達成されていないが、当該施策は短期的に成果が得るものではないと認識している。それぞれの取組みを積極的に展開していることは評価できることから、地域事情や市民の声などを反映させながら、着実に施策を推進されたい。		移住交流推進課 地域づくり推進課
2	市公式SNS合計フォロワー数が目標に達していない。市内の高校に協力を仰ぎ、3年生時(卒業間近)に周南市公式LINEのお友達登録等を推奨する取組を検討されたい。		移住交流推進課
3	「関係人口100万人ネットワーク」を引き続き推進するのであれば、単なるイメージ戦略ではなく、具体的な場所や手法、目標人数、複数本の柱による内訳など、具体的なロードマップを示した取組を検討されたい。		移住交流推進課
4	SNSについては、拡散のためにはある種のマーケティングのテクニックが必要となっており、行政のような堅実な機関が発信する情報を広く波及させることが難しくなっているように思われる。また運用上のコスト、リスクも大きくなってきている。SNSによる発信は必要ではあるが、関係人口創出への貢献度など、費用対効果の評価を検討されたい。		移住交流推進課
5	大津島地区以外で地域づくり活動に取り組まれている地区はあるか。		地域づくり推進課
6	地域づくり担い手団体については、人と人の出会いのタイミングも重要なため容易ではないが、引き続き機運の醸成に努められたい。		地域づくり推進課

推進施策(2)起業・創業支援の推進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	創業に関するKPIは順調であり、今後も引き続き、当該施策を推進していただきたい。認定新規就農者数に関するKPIは達成されていないものの、外部環境(資材等の高騰、人材確保の激化等)の影響が大きいものと推測する。パッケージ支援など、引き続き関連施策を推進されたい。		商工振興課 農業振興課
2	創業件数は目標より多く右肩上がりだが、継続率など創業から定着に関する持続可能性などについてはどうお考えしているか。事業を継続しているかどうかの把握はしているか。また、創業後の支援はしているか。		商工振興課
3	創業支援は実績があるものの、創業後の継続期間や事業拡大・成長性に課題がある。若者を惹きつける魅力あるまちとするため、创业者の持続・成長につながる施策に注力した取組を検討されたい。		商工振興課
4	新規就農者については、漁業者と同様、規模が大きいことにも着目して検討されたい。		農業振興課
5	農業については、農業の持続のために最も重要な要素が何か、KPIの見直しが必要と思われる。		農業振興課

推進施策(3)UJIターンの促進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIの達成には至っていないが、概ね評価できる。周南市の中山間地域には魅力がたくさんある。移住者の増加・定着については、中長期的視点を持って、地道に施策を推進されたい。		地域づくり推進課
2	移住した世帯数が84件とあるが、現在も引き続き居住されているか。移住前に思っていたイメージとギャップ、あったらよかった支援について、どのような意見があったか。また、それについてどのようなフォローアップをされたか。		移住交流推進課
3	進学や就職で地元を離れる高校3年生への卒業間近でのアプローチが必要と考える。		移住交流推進課
4	移住者がUJIターンを本気で考えるような魅力的かつ独自性のある支援策、受け皿となる企業の育成、農林設備の提供など、具体的な取組を検討されたい。		移住交流推進課
5	KPIについて、概ね達成されていると評価できるが、UJIターン先を中山間地域に限定する必要はないと考える。		移住交流推進課

推進施策(4)高等教育機関等との連携

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIは達成されていないが、積極的な各取組の推進によって、成果(若者の市内就職率の向上)が出る土壌は整備されつつある。市内事業所でのインターンシップは効果的であり、引き続き、各施策を推進することで、若者の地元定着の向上を目指されたい。		公立大学連携課
2	「地元に残りたい!」と思っている子達の多くは、若年からその傾向が特に強い傾向にあると思われる。そのため、高等教育より前(小中学校)に地元企業の魅力を伝えることが非常に重要だと考えるが、その点についてどう考えているか。		公立大学連携課
3	令和9年度の学生数が約2,000人とあるが、その学生数に対する市内企業への就職者数の目標値はあるか。		公立大学連携課
4	市内の高等教育機関と地元企業が、従来とは異なる発想や手法で連携・協力し、新たな商品開発・製造・販売手法など、実際に成果につなげるための取組を抜本的に強化・拡大されたい。		公立大学連携課
5	周南公立大学・徳山高専などの方々の地元企業への就職		公立大学連携課
6	たとえ大学所在地に就職しなかったとしても、在学期間中に地域に関わることはできるはずである。その意味で、地域にとって大学生は関係人口の最たるものであるといえる。それらの大学生は大学がなければ地域に関わることはなかった人々であり、活用、意欲の引き出しが重要であると考え。大学も組織として生き残りが必要であり、そのためには広く他地域からも学生を集める必要があると考える。		公立大学連携課

基本目標4。強みを活かし、賑わいあふれるまちづくり
推進施策(1)中心市街地における賑わいの創出

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIは達成されておらず、「まちなかの歩行者等通行量」は減少傾向にある。これは、人口減少、郊外のロードサイド店舗の充実等も大きな要因であると考えられ、そのような中で「中心市街地の活性化」施策については、相応に成果を生み出しているように思う。引き続き、施策を推進されたい。		中心市街地活性化推進課
2	「まちなかの歩行者等通行量」が年々減少している。コロナ禍と比較しても少なくなっている。市の取組内容が市場のニーズと乖離しているのではないか。要因の分析が必要と思われる。		中心市街地活性化推進課
3	「まちなかの歩行者等通行量」を見ると、中心市街地の活性化施策が効果を発揮していないようにも見える。一方で、直近の地価公示では徳山駅周辺の商業地は県内1位の上昇率となるなど、各指標が矛盾した動きとなっているように見える。これまで、中心市街地活性化の中で歩行者数データが重視されてきたが、コロナ禍や夏季の高温化を経て人々の行動が変わり、指標としての有効性が低下してきている可能性がある。地価が上昇している以上、活性化に対する期待があることは事実と思われるので、それを実際の経済活動活性化につなげる必要があると考える。		中心市街地活性化推進課
4	KPIとして、「中心市街地で行われるマルシェなどのイベント数」も加えてはどうか。こういった数値の地道なデータ化は、中心市街地に関係する指定管理者が変わった時のことも考えて重要だと考える。		中心市街地活性化推進課
5	徳山駅前地区第一種市街地再開発事業が完了し賑わいが戻りつつある今こそ、老朽化し残存期間の限られる銀座、銀南街、中央街の具体的なリノベーションに向けた取組を検討すべきである。市民を巻き込み、実態を正しく理解した上で知恵を絞り、現在の中心市街地を有効活用した活性化を図る工夫が必要と考える。また、そのロードマップの作成と共有も必要と考える。		中心市街地活性化推進課

推進施策(2)観光交流の推進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIは達成していないものの、観光客数は着実に増加(回復)しており、一定の評価はできるように思う、「見る観光」、「五感で感じる体験型観光」のほか、大衆向けだけでなく、マニア層が共感する観光も検討されたい。		観光振興課
2	「観光客数」は目標に達しておらず、新たなコンテンツの創出を検討すべきと考える。鳥取県では、水木しげる氏や青山剛昌氏の作品による観光地化を行っているが、貞本義行氏等の周南市出身の著名人とのコラボレーションは考えられないか。		観光振興課
3	KPIの実績が示す通り、従来通りの施策だけでは観光交流の拡大は難しい。今後は、体験型観光に注力した魅力発信に注力すべきと考える。		観光振興課
4	より一層の観光の拡大のためには県内各市と連携し、回遊できる観光コースをつくっていく必要があると考える。		観光振興課
5	「徳山動物園入園者数」が減ったのは、単純に暑かったからだけなのか。他の要因は分析されていないか。		動物園
6	「ニューツーリズムの推進」の取組にある「新たなビジョンに掲げた基本施策」とはどのようなものか。		観光振興課

推進施策(3)スポーツ交流の推進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIは達成されておらず、実績値との乖離も大きいですが、コロナ禍の影響(コロナ禍を機に様々なことが変化し、「周南緑地内体育施設利用数」がコロナ前に戻らないこと)が大きく関係しているように思う。施設改修を進めながら、中長期的な視点を持って、利用者数の回復に努めていただきたい。		スポーツ振興課
2	KPI目標は大きく下回るが、目標設定自体が意欲的かつ高い目標であり、利用者実数としては相応の規模がある。さらに伸ばしていくためには、引き続きこの分野に注力し、財源と人材を投入することは有効と考える。		スポーツ振興課
3	施設改修による使用休止など、やむを得ない要因によるKPI未達成に対する影響の大きさを示すことが望ましい。利用者数の低迷が、一過性の要因によるものか、需要自体の低迷によるものかが分かりづらい。		スポーツ振興課
4	令和4年をピークに「周南緑地内体育施設利用数」が年々落ちている原因についてどのように考えているか。今後の対策を考えているか。		スポーツ振興課
5	従来の身体的スポーツ交流に加え、年齢、身体能力問わず多様な人々が参加できるeスポーツ導入の考えはないか。		スポーツ振興課

基本目標5.時代に対応した、持続可能なまちづくり
推進施策(1)Society5.0の実現に向けたまちづくり

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIの達成状況は順調であり、今後も引き続き、スマートシティ推進に関する取組を進められたい。		スマートシティ推進課
2	KPIは達成されている。これら施策は市職員の業務改善の側面も大きく、雑用的な業務を効率化してより創造的な業務に取り組める体制となっていくことを期待する。		スマートシティ推進課
3	スマートシティの関連施策について、市民の理解や満足度はどうなっているか。		スマートシティ推進課
4	「RPAにて自動化する事務の件数」は目標に達しているが、残業の軽減や課内の人員削減等、現場でその効率化が実感できているのか。また、「「ぴったりサービス」の提供サービス手続き数」も目標に達しているが、市民の「ぴったりサービス」の利用状況はどうなっているのか。		スマートシティ推進課
5	Society5.0はまだスタートから間もなく、極端に進んでいる地域は少ないと思われるが、徐々に地域間格差が見えつつある。これに乗り遅れると取り返しのつかないハンディを背負った地域になりかねない。今こそ、独自色を出した尖った戦略で特化した取組を検討されたい。		スマートシティ推進課

推進施策(2)コンパクト・プラス・ネットワークの推進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPIはわずかながら達成されておらず、引き続き、「コンパクトシティの推進」、「公共交通ネットワークの形成」に関する取組を進められたい。		都市政策課
2	コンパクト・プラス・ネットワークは理想的ではあるが、現実を直視した施策を検討せざるを得ない。限られた資源を将来に向けて有効活用するためには、万人受けはしなくとも、熟慮の上で選定した「選択と集中」による重点的な取組を検討されたい。		都市政策課
3	立地適正化計画における都市機能誘導区域、居住誘導区域への居住を促す、補助金などの誘導施策も検討されたい。		都市政策課
4	行政代執行は何件実施したのか。また、空家等管理活用支援法人の相談窓口は何件程度の利用があったのか。		住宅課

推進施策(3)中山間地域の持続可能な生活圏づくり

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	徳山北部拠点施設の令和8年度の供用開始に向け、引き続き進められたい。		地域づくり推進課
2	成果が直ちに出づら政策領域ではあるが、短期的視点に偏らず、息長く取組まれたい。		地域づくり推進課
3	KPIはわずかながら達成されていないものの、一定の評価はできる。地域経営会社について、事業内容や体制が決まらず、設立に至っていないとのことだが、機運は醸成されていることも踏まえて、早期に設立できるように、取組まれたい。		地域づくり推進課
4	中山間地域の役割と目標を明確にして、それに即したぶれない施策を検討されたい。		地域づくり推進課
5	菊川地区コミュニティバス、鹿野地域等乗合タクシーの運行内容の見直しとあるがどのような不都合がありどのような変更をされたのか。		公共交通対策課

推進施策(4)多様な主体による地域づくりの推進

No.	戦略会議の意見	意見に対する市の考え等	担当課
1	KPI目標のうち「市民活動支援センターの支援を受けたコミュニティビジネス等の創出件数」について、達成されていないことは残念であるが、創出支援に加えて、ビジネスの継続支援も重要であることから、その両面に関する取組みを進められたい。		地域づくり推進課
2	短期的に評価すべき施策ではないと考えるが、コミュニティビジネスについては停滞しているように思われるので、その原因を分析する必要がある。		地域づくり推進課
3	夢プランを作ることが目的ではなく、そのプランで地域がどうなったのかが重要である。夢プランの実現度や当事者達の幸福度に変化はみられたかを具体的に知りたい。		地域づくり推進課
4	「地域の夢プラン」について、どのようなことを支援したのか。		地域づくり推進課